

元サッカー日本代表中澤さんが教室

小学生一流の技間近に

東北

サッカー日本代表元主将の中澤佑一さんを招いたサッカー教室が11日、東北町の青森原燃テクノロジーズセンターで開かれた。青森県内各地から集まった小学3、4年生89人がミニサッカーの試合を通じ、一流の技を楽しく学んだ。
（上村八穂）

「ボールは友達」ミニゲームで楽しく交流

中澤さんはサッカーJ1の横浜F・マリノスで15年以上にわたって活躍。ポジションはDFで、日本代表ではワールドカップ2006年大会と10年大会に主方として出場し、チームをけん引した。19年に現役引退後はサッカー解説者として活動している。

教室は日本原燃の主催で、地域貢献活動として展開している「公開講座」の一環。この日は、5人制ミニサッカーの試合が行われ、中澤さんはイベント運営の協力で訪れていた八戸学院野辺地西高サッカー部員とチームを組み、児童と対戦した。現役時代さながらの守備や華麗な足技を披露しながら、児童に「ナイスパス」「ボールは友達」などと声をかけていた。

児童は国内最高峰のプレーを間近で見ながら、技術を吸収しようと必死にプレーしていた。八戸市の上長フットボールクラブに所属する市立三条小3年の小松剣世君（8）は「世界で活躍していた選手とサッカーができて良かった。チームメイトと声をかけ合ってプレーすることが大事だと分かった」と満げに語った。